

令和8年度 まがめエルモ 事業計画書

1 今年度の目標

・実質的に設立初年度となるため、地域での認知度を高める。
・各種地域課題を解決するため、バルーンアートをはじめとする事業を新たに展開する。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	けやきふれあいまつり「バルーンアート」	(7)事業中(1)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年4月18日 ～ 令和8年4月19日	
(2) 実施場所	真亀公民館	
(3) 参加者数	300 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 真亀地区社会福祉協議会	
4 取組内容	・毎年開催している真亀公民館まつり（令和8年4月18日、19日開催）「けやきふれあいまつり」にてバルーンアートを実施する。 ・バルーンアート講師を招き、子どもから大人まで楽しめる企画（ミニ講座・作ってみようコーナー） ・まがめエルモ認定証交付式を行い、大勢の地域住民にエルモ立ち上げをアピールする。また認定式の際には、落合中学校吹奏楽部の演奏と共にセレモニーを行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・住民同士の関係が希薄化する中で、世代間の交流する機会が減少している中、公民館まつりという多世代が集う場を活用し、交流の機会を創出する。 ・住民主体のまちづくりを行う「まがめエルモ」の立ち上げを大勢の人が集う場で周知を図ることで、地域住民の地域への意識向上を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・イベントをきっかけに多くの人が交流し、顔見知りの関係づくりができる。 ・子ども達の思い出となり、郷土愛の醸成を育むことができる。 ・「まがめエルモ」認定式を執り行うことで、地域住民への周知となり、わがまち意識を持ってもらうことで、興味関心をもち、地域活動へのきっかけづくりとなる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	映画上映会	(7)事業中(2)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年5月17日	
(2) 実施場所	真亀集会所2階ホール	
(3) 参加者数	100 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 真亀地区社会福祉協議会	
4 取組内容	真亀集会所にて「ぼけますから、よろしくお願いします。～おかえりお母さん～」の映画上映を行う。 ・5月17日開催 ・一人暮らし、二人暮らしの高齢者の方が主な対象 ・広報紙(まがめ通信)、チラシを作成し、回覧板や掲示板などを活用して周知する。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・独居や二人暮らしの高齢者が増えている。 ・地域との交流が少ない高齢者が多く、孤独・孤立している方が増えている。 ・この取り組みに参加することで、見守りにもつながり、高齢者が安心して暮らせるまちづくりを推進する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・フレイル予防や認知症になっても、みんなに優しいまちづくりのために、ご自身でどんなことができるのかを考えるきっかけとなり、福祉のまちづくりに寄与する。 ・認知症についての理解を深めることができる。 ・映画上映会が外出のきっかけとなり、他者との交流から生きがいや健康づくりにつながる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	まがめ夏まつり	(7)事業中(3)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>8</u> 月 <u>1</u> 日	
(2) 実施場所	寺迫公園エントラス広場	
(3) 参加者数	<u>1, 0 0 0</u> 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 <u>真亀自治連合会</u>	
4 取組内容	・寺迫公園にて「まがめ夏まつり」(8月1日)を開催する。 ・広報紙(まがめ通信)、チラシを作成し、回覧板や掲示板などを活用して周知する。 ・子どもから高齢者の方まで、幅広く対象とする。 ・内容は、キッズダンス、フラダンス、バルーンアートなどの催し物をする。 ・屋台、キッチンカーなどで盛り上げる。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・世代間の交流機会が減少しており、地域行事に興味と持ってもらうきっかけとし、地域との交流を深める。 ・自治会加入者が減少しており、自治会に興味を持ってもらうきっかけとする。 ・イベントの開催により、にぎわいを創出し、担い手確保につなげる。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・夏まつりを通じてお互いを見守り、見守られる関係づくりに寄与する。 ・このイベントに参画することにより、仲間意識が生まれ共助の精神を育むことができる。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	真亀地区敬老会	(7)事業中(4)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(6) 地域の高齢者、障害者等への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年9月27日	
(2) 実施場所	真亀公民館ホール	
(3) 参加者数	150 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 真亀地区社会福祉協議会	
4 取組内容	・9月27日に真亀公民館ホールにて「真亀地区敬老会」を開催する。 ・77歳以上の全世帯住民を対象とする。 ・内容は、式典、フルート演奏、児童館児童のダンス、三味線演奏、交流の場とする。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・これまでは、自治会加入者のみを対象に実施しており、参加できない高齢者の孤立の問題が潜在化していた。 ・今回の敬老会を通じて、高齢者が安心して暮らせる福祉のまちづくりの推進に寄与し、課題解決に取り組みたい。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・対象者を学区居住者に広げ、案内を送ることでこれまで把握できなかった対象者の状況や困りごと等も伺うことが可能となり、福祉のまちづくりを更に推進することができる。 ・敬老会に参加することで、顔見知りになり、お互いを見守り、見守られる優しい関係づくりに寄与する。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	真亀モルック交流会	(7)事業中(5)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年10月4日	
(2) 実施場所	真亀小学校体育館	
(3) 参加者数	80 人(見込み)	
(4) 主催団体	団体名 真亀学区体育協会	
4 取組内容	・10月4日にフィンランド発祥のニュースポーツ「モルック」交流大会を開催する。 ・少人数でチーム編成が可能で、誰もが気軽に参加できる形式とする。 ・初心者でも楽しめるルール説明や体験時間を設け、競技未経験者の参加促進を図る。 ・過年度の実績(子ども会等での開催)を踏まえ、地域イベントとして定着を目指す。	
5 目的・効果	(1) 目的(どうして実施するのか。実施する背景は何か。) ・年齢や性別、体力差に関係なく楽しめるスポーツを通じて、地域住民の交流促進を図る。 ・外出機会の創出により、高齢者の健康維持、介護予防につなげる。 ・地域に新たな魅力(モルックのまち)を創出し、継続的な地域活動の活性化を目指す。 ・ニュースポーツの普及により、誰もが参加しやすいコミュニティづくりを推進する。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) ・世代間交流が促進され、地域コミュニティの結束力が向上する。 ・誰もが活躍できる環境により、参加者の満足度や継続参加意欲が高まる。 ・高齢者の健康増進や生きがいづくりにつながる。 ・「真亀＝モルック」の地域ブランド化により、地域の認知度向上や交流人口増加が期待できる。 ・継続開催により、地域内に新たな交流文化が定着する。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用する事業

1 事業名	まがめ秋まつり	(7)事業中(6)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 <u>8</u> 年 <u>10</u> 月 <u>17</u> 日	
(2) 実施場所	真亀公民館ホール・広場	
(3) 参加者数	<u>500</u> 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 <u>真亀自治連合会</u>	
4 取組内容	・10月17日に真亀公民館ホール・広場にて「まがめ秋まつり」を開催する。 ・広報紙・チラシを作成し、回覧板や掲示板などを活用して周知し、子どもから高齢者の方まで幅広く対象とする。 ・神楽上演や屋台などでまつりを盛り上げる。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・世代間の交流機会が減少しており、地域行事に興味をもってもらうきっかけとし、地域との交流を深める。 ・自治会加入者が減少しており、自治会に興味をもってもらうきっかけとする。 ・イベントの開催により、にぎわいを創出し、担い手確保につなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・秋まつりを通じてお互いを見守り、見守られる関係づくりに寄与する。 ・このイベントに参画することにより、仲間意識が生まれ共助の精神を育むことができる。	

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	スポ GOMI ウォークラリー大会	(7)事業中(7)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(7) 地域の生活環境の整備又は美化に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 1 1 月 1 日	
(2) 実施場所	真亀学区内一帯	
(3) 参加者数	1 0 0 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 真亀学区体育協会	
4 取組内容	・ 1 1 月 1 日に地域内に設定したコース上のチェックポイントを巡回しながら、チーム単位でゴミ拾いを行うウォークラリー形式のイベントを実施する。 ・ 各チェックポイントでは、5 競技程度の簡易スポーツに挑戦し、達成状況に応じて得点を付与する。 ・ ごみの種類や量に応じてポイント化し、年齢や体力差に関わらず誰もが上位を目指せるルールとする。 ・ コース途中に宝探し要素を取り入れ、景品を用意することで参加意欲の向上を図る。 ・ 地域の安全確認（子ども 110 番の家、危険箇所）も兼ねたコース設定とする。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） ・ 環境美化活動を楽しみながら実施し、地域住民の環境意識の向上を図る。 ・ 世代を超えた交流の場を創出し、地域コミュニティの活性化を促進する。 ・ 地域内を歩くことで、住民が自分たちのまちの魅力や課題を再認識する機会とする。 ・ 交流人口の増加や地域への愛着を通じて、将来的な定住、移住促進につなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） ・ 地域内のゴミが減少し、景観の向上および環境美化が図られポイ捨て防止になる。 ・ 子どもから高齢者までの交流が生まれ、地域のつながりが強化される。 ・ 参加者が地域の安全情報（子ども 110 番、危険箇所等）を把握し、防犯・防災意識の向上につながる。 ・ 歩行による健康増進や、外出機会の創出により高齢者の閉じこもり防止が期待できる。	

3 自主財源で実施する事業

特になし